

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公表番号】特表2005-528912(P2005-528912A)
 【公表日】平成17年9月29日(2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報2005-038
 【出願番号】特願2004-511476(P2004-511476)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 5/00 Z N A B

【手続補正書】
 【提出日】平成18年1月10日(2006.1.10)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項40
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項40】

被験者の遺伝子欠損を修正するための薬物の調製における、核酸分子の使用であって、該核酸分子が、

a) 幹細胞内で発現されたプレmRNAへの該核酸分子の結合をターゲットする1以上の標的結合ドメイン、ただし、該プレmRNAは遺伝子欠損を含む遺伝子によりコードされるものであること；および

b) 標的プレmRNAにトランススプライシングされるヌクレオチド配列、ただし、該トランススプライシングは遺伝子欠損の修正をもたらすこと；
 を含んでなり、該核酸分子は該幹細胞内の核スプライシング成分により認識されるものである、核酸分子の使用。